米川勝利（よねかわ しょうり） 議会活動報告 2014年9月議会

茨木市議会議員 米川勝利（よねかわ しょうり）の議会ニュース
つながりだより Vol: 8

2014年11月19日

発行責任者：米川勝利
茨木市桑田町 17-21
TEL&FAX：072-628-3986
携帯電話：070-5265-4371
メール：info@s-yonekawa.net

阪急茨木市駅東口におけるホール建設関連

～9月議会の補正予算案の修正案に賛成～

これまでの経過

●6月議会でも議論

今、ユーアイホール（市民会館）を閉鎖し、阪急茨木市駅東口に文化芸術ホールを建設するかどうかで議会と行政、議会内で意見が割れ、議論になっています。

そもそも平成25年度に（仮称）阪急茨木市駅東口にぎわい創出複合施設整備検討業務委託で調査が行われています。その結果を踏まえ、茨木全体のまちづくりや建設費用、文化振興ビジョンと文化芸術ホール建設基本構想の関係、市民参画等の観点から米川を含め、複数の議員から質疑が行われました。拙速な進め方に議会が待ったをかける形となりました。

●9月議会の争点に

今回、補正予算（総額は約4億5000万円）の追加の事業として、「文化芸術ホール整備事業手法の検討：阪急茨木市駅東口に建設を検討している文化芸術ホールについて、事業手法等の検討を行う」という説明で、800万円計上されました。

※イラストはイメージです。

阪急茨木市駅東口
文化芸術
ホールの建設
する？しない？

事業手法検討のための調査費用800万円が争点に！

●採決の流れと結果

米川はここに賛成

日本共産党案（組替案）800万円以外にも色々組み替えた案 → 否決
→ 自由民主党・絆の修正案 事業手法の検討 800万円を使用しない案 → 否決
→ 原案 事業手法の検討 800万円を含む → 可決

●この採決に入る前に討論

討論とは、一般的な辞書的意味とは異なり、議案に対し賛成か反対か、理由を付けて自ら（会派）の意見を表明するものです。我が会派「茨木市民フォーラム」の意見（討論）の要旨は以下の通りです（米川作成）。なお、本会議での討論では、我が会派からは桂議員が立ちました。

茨木市民フォーラムの意見

- 現市民会館は老朽化に伴う閉鎖はやむを得ず、またバリアフリーの問題がある。これから立命館大学のホールも使用しながら、市民に愛されるホールを丁寧に考えて作るべき。
- 近隣市の調査で、ホール建設にあたっての民活手法の検討データを見ることができる。公設業務委託・公設指定管理・PFI・DBOを検討し公設指定管理を選択している。（PFIを選択している自治体はほとんど見られない）。したがって、敢えて今800万円の税金を使ってまで委託する必要がない。
- 財政状況が厳しい中でのハード整備にはプロセスが大事。
- 文化振興ビジョンを策定してからのハード整備であるべきであるが、現在並行して、施設をつくることの中身の話が先行してしまっていることが問題。
- 建設基本構想は5人のメンバーでたった2時間×3回でつくろうとしている。
- 東口という「点」ではなく、面的な整備を。

以上の理由から、米川は茨木市民フォーラムの一員としても、修正案に賛成しました。しかし、無記名投票の結果、修正案は17対12で否決されました（共産党の組み替え案も否決）。原案は賛成者多数で可決されました（茨木市民フォーラムは退席）。

◆防災対策について質疑しました！ …表面
◆今夏、インターン生の受け入れを始めました！（対談記事） …中面
◆9月議会は、議会を二分するほど議論が巻き起こりました！ …裏面

9月議会日程

4日	開会、議案審議
5日	議案審議
8~11日	常任委員会
12日 16~18日	一般会計決算特別委員会
22日	幹事長会、議会運営委員会
25日	討論、採決、閉会

米川（よねかわ） 勝利（しょうり）プロフィール

◇1986（昭和61）年生まれ
◇大池小学校、東中学校、茨木高校、同志社大学政策学部卒業
◇同志社大学大学院 総合政策科学研究科 博士前期課程修了 博士後期課程退学
◇所属委員会
・総務常任委員会
・議会運営委員会
・市街地整備対策特別委員会
◇茨木BBS会 副会長

詳しいプロフィールはホームページへ
http://s-yonekawa.net/
ブログも更新中！

災害時の情報発信の不備について - 総務常任委員会で質疑 -

※8月9日～11日の台風11号、8月24日の大雨時

◆ 災害時に茨木市のホームページが一時つながらなかったこと ◆

質問① 私が8月24日に市ホームページ（以下、HP）にアクセスした際、エラー表示となった。24日に限らず、9日～11日もつながりにくい状況があったのではないか。当時の状況とその後の対策は？

答弁① 市が災害対策本部を設置した後は、アクセス数の増加を考慮し、市HPを災害緊急情報ページに切り替えて運用したが、それ以上にアクセスが集中したことがつながりにくくなった原因の１つである。
その後、サーバの負荷を分散させるなど、つながりやすくなるよう対策を講じた。

台風時につながりにくい状況があったが、さらに大雨時も改善されていなかったことが問題。
何よりも、緊急時に市民がHPから情報を得られなければ意味がない。そもそもサーバの契約等で、よりアクセスに耐えられるように検討を。（※答弁①のつながりやすくなるような対策とは、ページのデータサイズを軽くする等であり、サーバを変えるなどの根本的な改善ではない）

◆ 情報発信にタイムラグ（時間差）があったこと ◆

質問② 台風１１号の際、携帯電話で受信するエリアメールの後、市HPやFacebook等での発信にタイムラグがあったと記憶している。実際は？そして対策は？

答弁② 市が発令する避難情報のHP・Facebook・ツイッターへの掲載は、市がエリアメール等を発信した時期と最大1時間20分の時間差があった。広報部門と連携し、担当職員を本部事務局に派遣するとともに、人員体制の増強を考えている（危機管理課答弁）。

編集後記：9月議会の本会議では、老人福祉センター再構築について質疑をし、決算特別委員会にも初めて行かせていただきました。紙面の都合上今回は割愛しています。詳しくは議事録等をご覧いただければ幸いです。

議員インターンシップ 学生の受け入れ × インタビュー　～２か月間の活動を終えて～

私が議員を志すきっかけとなった議員インターンシップは、NPO 法人ドットジェイピーが行っています。夏休み（春休み）の２か月間を使って大学生が議員のもとで勉強をするというプログラムです。私は 2005 年夏に参加し、ある茨木市議のもとでお世話になりました。そして、今夏初めてインターン生を受け入れました。記念すべき１期生となったのは、大阪大学２回生の山本拳輝さんと、同志社大学２回生の福代千晃さんです。インターンシップのプログラムで、議会傍聴、街頭演説、プレゼンテーションの勉強、自己分析、政策研究を行いました。計 100 時間超の活動でした。そんな彼らにインターンシップ終了後、改めて話を聞きました。

同志社大学法学部２回生
福代千晃 Chiaki Fukushiro
京都府出身

大阪大学法学部２回生
山本拳輝　Genki Yamamoto
鳥取県出身

米川：なぜインターンシップに参加しようと思った？

福代：自分の成長のためでした。普段の生活で議員と関わることはあまりありません。議員に対して持っているイメージも人それぞれだと思います。議員というリスクの高い仕事をしている方々は一体どのような思いで働いているのかが気になり、また、立場の違う議員と直接関わることで何か感じることがあるのではないかと思い、参加を決意しました。

米川：では、実際に２か月間参加してみてどうでしたか？

福代：学ぶことの重要性を知ることができました。「**なぜ勉強が大切なのか**」、今までこの当たり前のような問いに対し、真剣に考えたことはありませんでした。

でも、勉強によって知識を身につけることは、物事を考える出発点であること、知識は人間性を形成する根幹だということに気づきました。これは、平凡に大学生活を送っていたら気づけなかったと思います。このインターンシップに出会って、自分に欠けているものを理解することができ、今ようやく自分の**成長のスタートラインに立てた**ように思います。

米川：インターンシップに参加しようと思った理由は？

山本：一番の理由は、議員という立場から国や地域のあり方を考える経験をしたいという思いからでした。

私は政策に関心があり、よりよい社会のあり方を考えていくうえで、今後に生きてくるような経験をすることを目標としたかったんです。

米川：インターンを終えての感想は？

山本：「**議員には公私の区別がほとんどない**」というのが私の感じた印象でした。地域をよりよくすることに全力で取り組んでおられること。私生活の場面でも、地域とかかわることを常に大切にしておられること。**それだけの覚悟がないとこの仕事はできないと強く感じました。**

また当然ながら、議員は民意を反映する存在なので、考え方が本当にそれぞれ多種多様で、他の議員さんにお話を伺うたびにまた新たな発想に出会うことができ、それもまた面白かった。私も社会を良くしたいという思いが強くあるので、自分なりに今後も学んでいきたいと思います。

米川勝利ってどんな人？

米川：最後に二人に質問。米川勝利って一言でいうとどんな人？
山本：「**聞く人**」だと思います。
米川：何で？
山本：誰にでもできそうでなかなかできない事。特に僕にはなかなか難しい（笑）。
大したことない事であってもちゃんと聞いてくれるような人だという印象があります。
米川：福代さんはどうですか？
福代：米川議員の人柄を一言で表すと、「**実直な人**」です。
米川：ワケも聞かせてもらえますか？
福代：私たちインターン生に対しても気を遣ってくださったことから、どんな相手でも一人の人間として尊重して接しておられているように感じました。ですので、インターン生から見た米川議員は、良心の備わった、実直な人だと思います。
米川：聞いた本人が恥ずかしくなってきました（笑）。そんな風に言ってもらえて嬉しいです。
二人には、この２か月間なかなかしてあげられないこともありましたが、真面目にプログラムに取り組んでもらいました。山本さんは疑問を徹底的に無くし、自分の考えを持つタイプ。福代さんは控えめだけど、くじけない心を持つタイプ。今回のインターンで得た知識や経験を、残りの大学生活に活かしてください。何よりも未来に向かって熱く進んでいってください。
僕も良い刺激をもらいました。ありがとう。